

=====
ふくしま

2017. 4. 25

復興支援フォーラムニュース No. 112

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先> 今野順夫 (tkonno67@gmail.com)
=====

<第110回 ふくしま復興支援フォーラム> (2017.04.25)

檜葉町の現状と復興に向けた取り組みについて

檜葉町長 松本 幸英

1 震災後の檜葉町

2 檜葉町の現状

- ・町内の放射線量、除染等
- ・インフラ等の復旧状況
- ・町内居住者の状況
- ・住民意向調査（帰還への意欲）

3 復興に向けた取り組み

- ・檜葉町復興計画
- ・土地利用計画（竜田駅東側エリア、コンパクトタウン、産業再生エリア）
- ・コミュニティ再生の取り組み
- ・重要課題（教育と農業）
- ・今後の動き

~~~~~  
第109回ふくしま復興支援フォーラムでのご意見等

2017年4月19日、福島市・福島市民会館で、第109回ふくしま復興支援フォーラムを開催しました。海部幸造弁護士(原発と人権ネットワーク)から、「原発事故6年を経過するにあたって、私たちの緊急提言」と、題して報告をしていただきました。強風警報の出ているなか、26名が参加しました。

このフォーラムには、緊急提言をまとめた「原発と人権ネットワーク」から、丸山重威氏(日本ジャーナリスト会議)及び北村浩氏(日本科学者会議)もご参加いただき、補足のご発言をいただきました。

参加者からのご発言も、活発に展開され、時間が足りないようでしたが、会場で文章で提出いただいたご意見・ご感想は、以下のようでした。参考にしてください。

~~~~~

★ 福島原発避難とは、いったい何だったのかを、今、改めて問わなければならないと思います。(M.K)

★ 大変、的をついた提言で、正確だと思います。さらに豊富になるようにお願いします。私達も声を集めていきたいと思います。(M.S)

★ 緊急提言のとりまとめ、お疲れさまでした。福島での紹介は、大いに意義のあることと思います。ぜひ内容をブラッシュアップするとともに、政策転換に結びつくよう活用していただきたいと思います。(H.S)

★ 提言をあらためて読むと、揺らぐ思いをもう一度、基本に立ちかえられるように思った。「オール福島」は難しいが、やはり続けて運動と学ぶことを続けたい。(O)

★ 私は、南相馬市小高区大富(原発から18km)出身です。私自身は、17年前から福島市民ですが、私の小・中学校の同級生は、避難中(5~6ヶ所変えた)に脳梗塞、その後心筋梗塞になり、現在、原町の復興住宅に住んでいるが、全て妻の介護なしには、一人で生活できなくなりました。「帰らないのは自己責任」と言われても、家はボロボロ、医者はなし、仕事はできない・・・たまたま今日、原町で会ってきましたが、同級生や後輩が死んだ話などが多く、生きる希望をなくしている様で、元気がありませんでした。私とこの同級生の部落は70戸あり、解除後戻ったのは10戸です。先生の「提言」、全て同感です。国と東電、許せません。私も「原告」として頑張ります!!(K.W)

★ 現状認識、提言について知ることができてよかった。風化、特殊な問題と見られていくこと心配です。やはり、まず知ることが大事かと。その意味で、学習の場が広がることが重要だと思います。(J.Y)

★ この提言を我が事になるためにも、血肉をかよわせる必要があると思います。(Y.I)

★ 原発と人権ネットワークによる「提言」に対して、様々な角度から、また福島「現在」に根ざした貴重なご意見をいただき、大変有意義な会だったと思います。今後とも、このような形で、意見が交換できればと思います。このような機会をいただき、大変ありがとうございました。(H.K)

~~~~~

【資料】

★「ふくしま復興支援フォーラム」報告テーマ（2011年11月～2017年5月）の分類

（1）復興の全体像

・福島県復興ビジョンについて（鈴木浩）／・福島の復興に向けた課題への全体像（羽島圭）  
／・原災地域振興のグランドデザイン考～うつくしまふくしま未来支援センターの活動から～（山  
川充夫）／・福島原発災害と復興への課題（鈴木浩）／・放射能難民から生活圏再生へ～マーシ  
ャルからフクシマへの伝言（中原聖乃）／・『理解の復興』と『生活の復興』各論を超えて～福  
島学構築のプロジェクトの取り組み～（開沼博）／・過去の災害の経験からみえること～2000年  
三宅島雄山噴火の経験・水俣58年間の経験（高木亨）／・『福島のいま』を伝えつづけて（佐藤政  
男）／・第3回国連防災世界会議と福島の復興（鈴木浩）／・復興の現段階と今後の課題（真木實  
彦・斎藤紀）／・被災者が主役の復興目指して～試みとしての車座会議～（田村泰生）／・原発  
事故6年を経過するにあたって、私たちの緊急提言（海部幸造）／

（2）原発事故の全貌と廃炉の推進

・なぜ福島で大規模データの収集・公開が必要なのか—医療経済学からみた独立評価の重要性  
（兪炳匡）／・原発事故と4つの事故調査委員会報告（真木實彦）／・放射線影響予測システム  
SPEEDI とは？なぜ機能しなかったのか？ありうる次の事故で有効に活用するには？（佐藤康雄）  
／・放射能汚染水問題について（柴崎直明）／・飯舘村での放射能調査と初期被曝評価プロジェ  
クト（今中哲二）／・震災下の労働問題について（針生達矢）／

（3）被災の実態と課題

・双葉郡8町村住民実態調査について（丹波史紀）／・被災者の立場からの事故調査報告（横須  
賀禮子）／・原発事故県外避難者が抱える問題と構造（佐藤彰彦）／・外国出身県民にとっての  
東日本大震災・原発事故（斎藤隆）／・県外避難者の現状と課題（富田愛）／・仮設住宅の実態  
について（鎌田利光）／・地域で見守るしくみ～生活支援相談員活動状況調査を踏まえて～（久  
保美由紀）／

（4）被災者の思いと状況

・原発事故に伴う浪江町の復旧・復興に思うこと（小澤是寛ほか）／・『放射能からきれいな小  
国を取り戻す会』の活動と今後の課題（佐藤惣洋）／・おだがいさまセンターはどこに進もうと  
しているか—被災者支援のいま（天野和彦）／・避難者から福島復興を考える（渡部寛志）／・  
福島県居住支援協議会 震災被災者の住宅再建支援と高齢者等の地域見守り（斎藤隆夫）／・広  
域避難の現状と課題（佐藤宏美）／・原発避難者向け復興公営住宅入居者調査結果について（西  
田奈保子）／

（5）健康問題／医療

・原発事故による医療機関の被災と再生に向けた取り組み（松本純）／・放射線のリスクをめぐ  
るコミュニケーション（村山武彦）／・放射線被曝とその影響について（斎藤紀）／・内部被ば  
く検査の現状、結果から見えることとその問題（坪倉正治）／・医療側から見える医療体制の崩  
壊～いわき市在住一麻酔科医からの報告～（洪浩彰）／・トラウマに弱い方々の理解と対応～大  
震災を中心として～（星野仁彦）／・原発事故と予防衛生（田中正敏）／・よりそいホットライ  
ン1千400万件のアクセス分析が示す被災地の今と日本の今（熊坂義裕）／・相双地域におけるメ  
ンタルヘルスケアの取り組み（丹羽真一）／

（6）福祉・介護の課題

・震災後の福祉・介護の現状と課題（岩下哲雄）／・福島県における精神科医療・保健・福祉

の現状と課題（大川貴子）／・老人福祉施設における避難及び復興に取り組む現在の課題（高木健）／

## （7）地域生活における生業の再生

### ①農業・漁業と畜産業

・福島県農業の再生に向けての現状と課題（小山良太）／・福島県における水産物放射能汚染の現状と対応（五十嵐敏）／・ふるさとの復興（福幸）に向けて～かあちゃんの力・プロジェクトが目指すもの～（塩谷弘康）／・福島県の畜産の現状と復興の課題（志賀茂）／・食と農でつながる～福島・女性農業者の取組み～（岩崎由美子）／・福島県の漁業振興に向けた取組（遠藤和則）／・放射能汚染と樹園地および山岳生態系～山岳愛好家・果樹研究者として係った東京電力福島第一原発事故（佐藤守）／・原発災害後の福島の生業再生と地産地消のゆくへ～沿岸漁業復興と“もやい直し”の可能性（林薫平）／

### ②商業・サービス業・観光業の再生

・移転避難商工業復興の課題と方向～浪江町復興まちづくりと事業再開支援の経過から～（佐藤健一）／・ふくしまの観光業の現状と課題（渡邊和裕）／・中小企業の被害状況と復興に向けた課題（初澤敏生）／・福島における商業・サービス業の復興再生を目指して（松原茂）／福島の小さな町から始まったアート（土湯）（ユミソン）／・旧警戒区域復興への挑戦（藤田大）／・県内商工業の復興の現状と課題～営業損害賠償問題にも触れて～（佐藤敏文）／

### ③社会的起業

・『新生ふくしま』の原動力としての『社会的企業』の意義と可能性～福島県での起業支援活動を通じて感じたこと～（坪田哲司）／・エネルギー革命による地域の自立～会津電力設立の経験から～（佐藤彌右衛門）／土湯温泉における再生エネルギー（バイナリー発電、小水力発電）事業（佐藤英雄）／・ドイツと日本の電力改革～電力自由化、脱原発、再エネ～（高瀬雅男）／・再生可能エネルギーの事業の現場から（千葉訓道）／

## （8）市町村長の苦悩と課題

・帰村宣言した川内村の現状と課題（遠藤雄幸）／・川俣町の現状と課題（古川道郎）／・葛尾村における避難と復興に向けた取組み（金谷喜一）／・「おカネの世界」から「いのちの世界」へ（菅野典雄）／・南相馬市における現状と課題（桜井勝延）／・双葉町の現状と復興の課題（伊澤史朗）／・原子力災害からの復興に向けて～大熊町の現状と課題（渡辺利綱）／・広野町の被害の状況と復興の課題（遠藤智）／・東日本大震災における田村市の災害対応の概要（冨塚宥暎）／・楡葉町の現状と復興に向けた取組みについて（松本幸英）

## （9）自治体はどうすべきか

・震災体験から考える自治制度の課題～自治体間連携から「仮の町」まで（今井照）／・復興に向けた地方自治体の課題（清水修二）／・自治体再建・原発避難と『移動する村』（今井照）／・地域再生と避難者の生活再建（伊藤寛）／・飯舘村は負けない～復興の模索と課題（松野光伸）／・葛尾村の復興への取組み（芥川一則）／・原発事故被災地における復興まちづくり計画（間野博）／

## （10）地域社会への影響と復興

・原発災害と地域社会（真木實彦）／・東日本大震災・原発事故から文化財を守る（菊地芳朗）／

## （11）除染問題

・除染活動を通じ地域経済の復興を目指して（安齋一男）／・桑折町における除染作業と廃棄物の仮置き場問題（渡邊美昭）／・汚染土壌の減容化について（椿淳一郎）／

## (12) 子どもを守る

・原発・放射線災害と子ども・学校・地域（境野健児）／・放射能災害下の子どもたち（大宮勇雄・齋藤美智子）／・子ども被災者支援法の現状と弁護士会の活動（楨裕康）／・福島の子どもたちに寄り添いながら（本多環）／

## (13) 教育の取り組み

・震災復興における高校教育の現状と課題（齋藤毅）／・大熊町における学校再生の挑戦（武内敏英）／・原発事故後のリスクコントロール教育実践から（二瓶由美子）／・OECD東北スクールの実践と若者たち～ふくしまから新しい教育の創造～（三浦浩喜）／・福島県双葉郡の小中学校の『ふるさと創造学』～避難校に広がる実践の試み（中村秀夫）／・震災後の学校状況調査から（朝賀俊彦）／・神戸から福島へ：学びのネットワークという挑戦（前川直哉）／

## (14) 損害賠償

・人間復興に向けた損害賠償運動の意義～農業を中心として～（根本敬）／・損害賠償問題の現状と課題（渡邊純）／・現時点における原子力損害の賠償状況とその問題点（渡辺淑彦）／

## (15) ジャーナリズム

・ジャーナリストから見た震災復興の課題（藍原寛子）／・『プロメテウスの罠』から見えたもの（依光隆明）／・東京新聞はなぜ脱原発か（井上能行）／・震災報道の現場から～伝える事の大切さ、伝える事の素晴らしさ（大和田新）／

## (16) 食品

・食品の放射線物質の暫定規制値の見直しについて（佐藤理）／・生協組合員目線での被ばく調査について（野中俊吉）／

## (17) 法的課題

・福島復興再生特別措置法案について（中井勝己）／・原発廃炉に向けた法的課題（広田次男）／・原発事故子ども・被災者支援法の概要と問題点について（今野順夫）／・原発事故の惨状と新安全基準骨子案について（伊東達也）／

## (18) その他

・311以後の映画―直後から現在まで。そして“5年後の作家たち”の時代（阿部泰宏）／

### ◆◆◆◆【会場個人カンパありがとうございました】◆◆◆◆

第108回ふくしま復興支援フォーラム（4月19日）の会場で、カンパ500円をお寄せいただき、ありがとうございました。ご報告とともに、御礼申し上げます。（今野）

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽

#### 【会計報告】（2017.4.7現在）

##### 「収入」

|                    |                                    |
|--------------------|------------------------------------|
| 2017.4.7まで累計       | 44,556円（第2期（2016.10.27～）繰越 7,106円） |
| 会場個人カンパ(2017.4.19) | 500円                               |
| 計                  | 45,056円                            |

##### 「支出」

|                      |         |
|----------------------|---------|
| 2017.4.6（会場費111まで）累計 | 30,920円 |
| 計                    | 30,920円 |

「残金（現在高）」2017.4.24 14,136円

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽